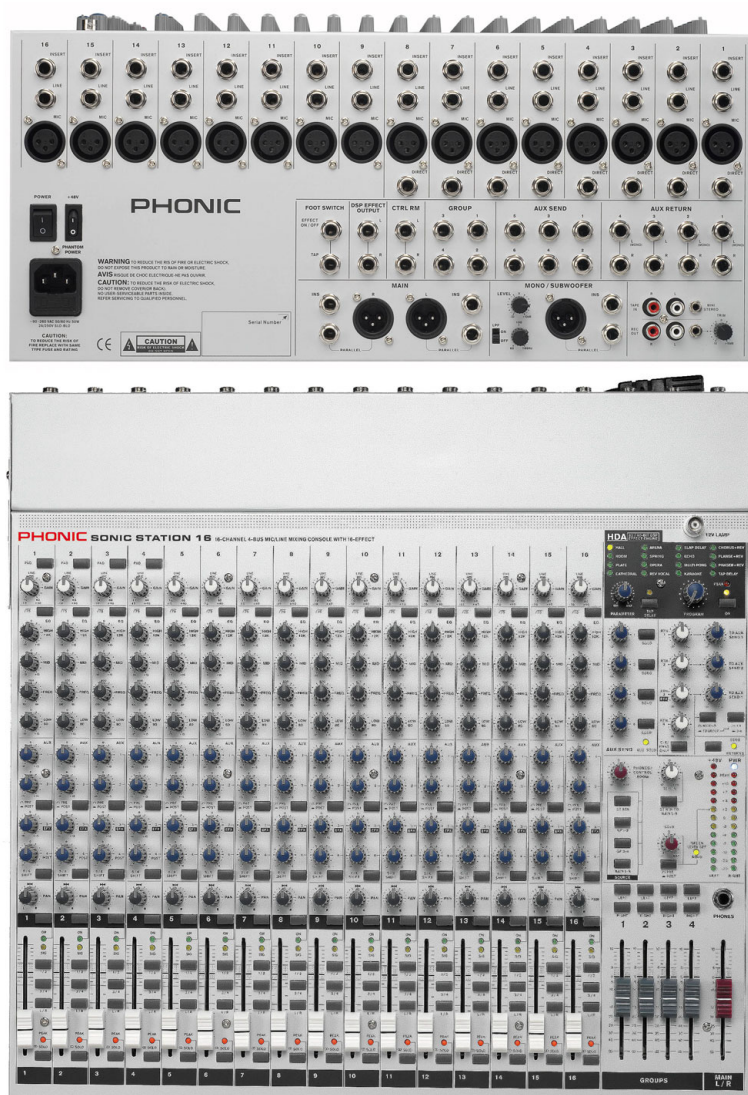


PHONIC

Sonic Station 16



株式会社サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡 1958
 TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は PHONIC 社製のミキシング・コンソールをお買い上げ頂き有難うございます。商品の性能を最大限に発揮させ末永くお使い頂く為に、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。尚、お読みになった後は保証書と一緒に大切に保管して下さい。

ご使用の前に

1. この取扱説明書に従って操作して下さい。
2. 水の近くや雨のあたる場所で本製品を使用しないで下さい。
3. 本体のクリーニングを行う場合は乾いた布のみを使用し、液体クリーナー等は使用しないで下さい。尚、クリーニングの際は必ず本体の電源ケーブルをコンセントから抜いて下さい。
4. 冷却用ファンや通気口を物でふさがないようにご注意下さい。
5. 本機を設置する際は、直射日光の当たる場所、又はラジエーターやストーブ等の熱を発生させる器具のそばを避け、なるべく通気性の良い場所でご使用下さい。
6. 感電などの事故を避ける為に、電源ケーブルを接続する際には正しい方法でコンセントに接続して下さい。
7. 電源コードは機材への挟み込み等、無理な力が加わらない様ご注意下さい。
8. 本体に付属したパーツ/アクセサリのみを使用して下さい。
9. 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
10. AC100V、50/60Hz のみでご使用下さい。
11. 故障や感電事故を防止すると共に、性能を維持する為にも、ケースを開けて内部に触れたりしないで下さい。修理が必要な時には、販売店、もしくは輸入代理店までお問合せ下さい。

基本機能

- 高音質、超低ノイズレベル
- ファンタム電源、インサート端子を搭載した 16 系統のマイク/ラインチャンネル
- メイン L と R ルーティングボタンを搭載した 4 つのサブグループ
- マルチトラッキング用のダイレクトアウト端子を搭載
- 可変周波数とローカットフィルターを搭載した 3 バンド EQ をモノラルチャンネルに搭載
- 各チャンネルに 18dB/オクターブ@75Hz のローカットフィルターを搭載
- 4 系統の AUX センド(AUX1/2 はプリ/ポスト切替スイッチを搭載)
- 16 種類のエフェクトを内蔵したタップコントロール、パラメーター・コントロール付き 24 ビットエフェクトプロセッサーを装備
- 4 系統のステレオ AUX リターン
- 4 系統のモノラルチャンネルにパッドを搭載
- マルチ入力ソースマトリックスを搭載したコントロールルーム出力とヘッドフォン出力
- モノラル出力端子に 60～160Hz の範囲で調節可能な LPF を搭載
- ゲインコントロールを搭載した RECORD 出力端子
- ミニステレオ入出力端子を装備し、ポータブル MP3、MD、CD プレイヤー等を接続可能
- コネクターパネルを後方に 90° 回転させることが可能
- ラックマウントキット付属

初期設定

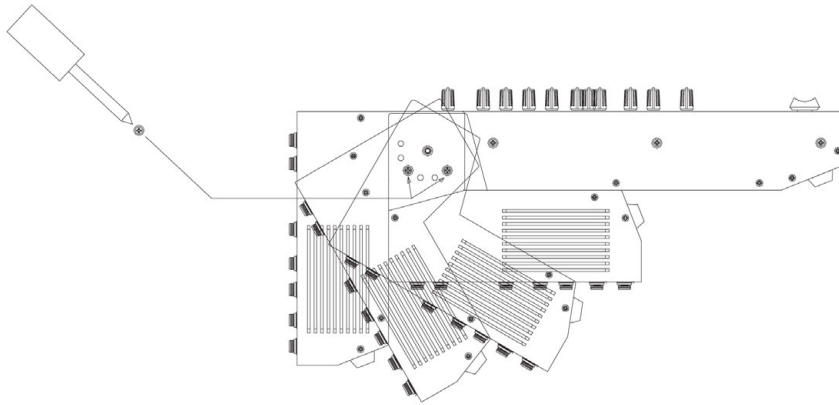
1. Sonic Station 16 の電源がオフになっていることを確認して下さい。
2. 全てのフェーダーとレベルコントロールを一番低いレベルに設定し、全てのチャンネルのスイッチがオフに切替わっていることを確認して下さい。これにより誤って信号が出力されることを防ぎます。
3. マイクや外部機器等をそれぞれ適切な入力端子に接続して下さい。
4. パワーアンプやパワードスピーカー等をそれぞれ適切な出力端子に接続して下さい。
5. 電源ケーブルを本体の電源入力端子に接続して下さい。
6. 電源ケーブルを電源コンセントに接続して下さい。この際、電源が AC100V、50/60Hz であることを必ず確認して下さい。
7. 本体の電源をオンに切替えて下さい。

チャンネル設定

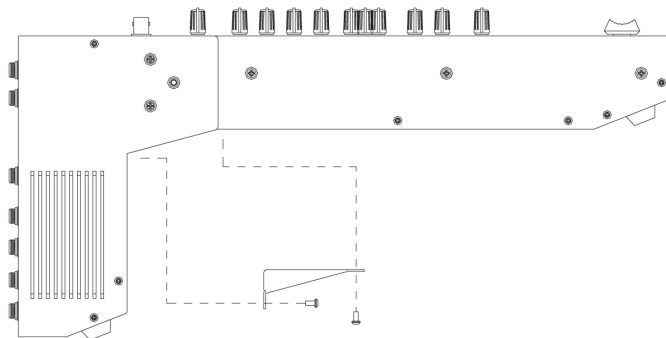
1. 選択されたチャンネルの入力レベル設定を正しく行う為に、まず各チャンネルのスイッチをオフに設定し、全てのフェーダーを0(ユニティー)にセットして下さい。また全ての EQ コントロールはセンターに、AUX センドは一番低いレベルに設定されていることを確認して下さい。
2. 使用するチャンネルを選択し、そのチャンネルに信号を入力して下さい。この際、必ず実際に使用にする信号レベルを入力して下さい。
3. チャンネルの SOLO ボタンを押し、SOLO レベルコントロールの下に搭載されている Pre/Post ボタンがオフになっていることを確認して下さい。これによりレベルメーターで入力信号を確認することが可能です。
4. チャンネルのゲインノブを調節し、入力レベルがレベルメーター上で 0dB を指すくらいに設定して下さい。
5. これにてセッティングは完了です。入力信号を止めて下さい。
6. 入力ゲインを設定したチャンネルを使用する為に、SOLO ボタンを押し、チャンネルのスイッチをオンにして下さい。またこの時ルーティングボタンを押して信号経路を設定して下さい。
8. 他のチャンネルも同様に1～6を繰り返して下さい。

接続パネルポジションの変更

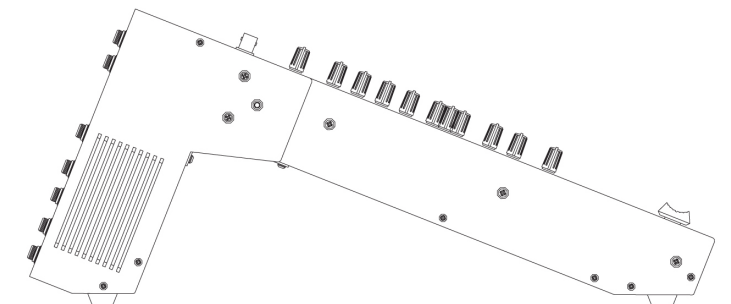
1. 接続パネルを固定している 2 つのネジを外し、図のようにパネルを 90° 動かして下さい。接続パネルを移動したら先程取り外したネジで再度固定します。



2. L 型ブラケットを本体裏側に取り付けネジで固定して下さい。これによって内部回路が外気に触れることを防ぎ、不慮の事故を防止します。

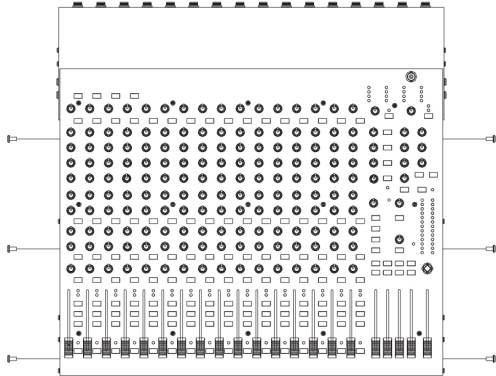


3. これにより Sonic Station はデスクトップミキサーとして使用することが可能になります。

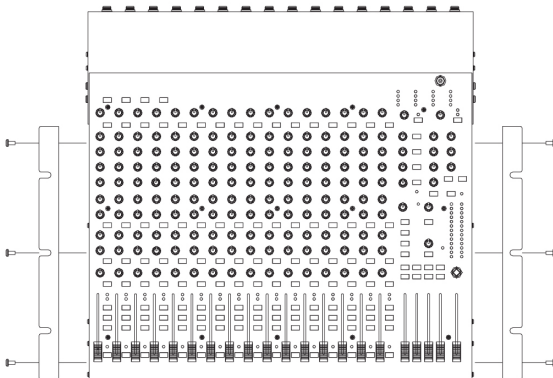


ラックマウントキットの取り付け方法

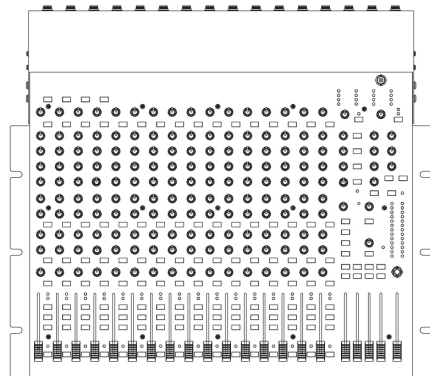
1. 本体側面に取り付けられたネジ 3 つを取り外して下さい。



2. ネジを取り外したネジ穴を使用し、ラックマウントキットを取り付けます。



3. 3 つのネジを締めれば完成です。これによって標準 19 インチラックに Sonic Station を設置することが可能です。



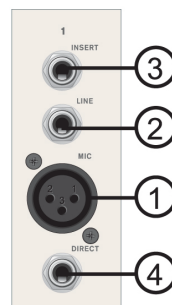
接続方法

リアパネル

1. XLR 入力端子

バランス信号を XLR 入力端子にコンデンサーマイク、ダイナミックマイク、またリボンマイク等を接続して使用することが可能です。

注: XLR 端子にアンバランス仕様のマイクを接続する時は、必ずファンタム電源をオフに切替えて下さい。



2. ライン入力端子

バランス仕様のフォン入力端子にキーボード、ドラムマシン等を接続して使用することが可能です。

3. インサート端子

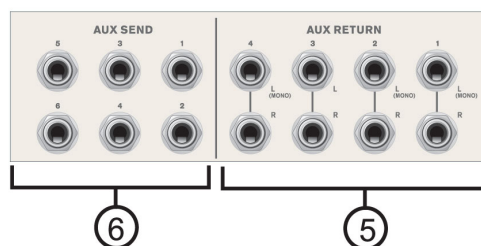
各モノチャンネルにインサート端子を搭載しています。インサート端子はチャンネルの信号経路のブレイクポイントです。コンプレッサーや EQ 等の外部機器を接続する際にご使用下さい。

4. ダイレクトアウト

モノチャンネル 1~8 にダイレクトアウト端子を搭載しています。ダイレクトアウト端子からチャンネルに入力されたポストフェーダー/ポスト EQ 信号を出力することが可能です。ダイレクトアウト端子は通常マルチトラックレコーダーに接続して使用します。

5. AUX リターン入力端子

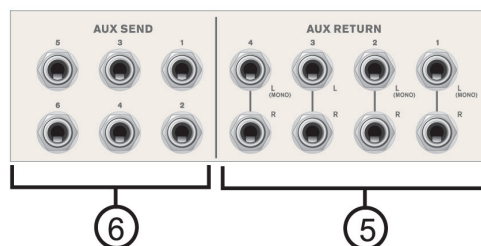
リバーブ等の外部シグナルプロセッサからの信号を Sonic Station に入力する際に使用します。また入力端子が足りない場合等にライン入力端子として使用することも可能です。AUX リターン入力端子への入力信号レベルは、AUX リターンコントロールで調節可能です。モノラル信号を AUX リターンに入力する際はバランス仕様のフォン端子を AUX1、2、4 の L 側に接続して下さい。自動的に R 側にも反映するような内部配線になっています。



注: AUX リターン 3 は内蔵エフェクトのリターンとして使用します。よって AUX リターン 3 に外部機器が接続されると内蔵エフェクトの入力信号がブロックされメイン L/R に送られなくなりますのでご注意ください。

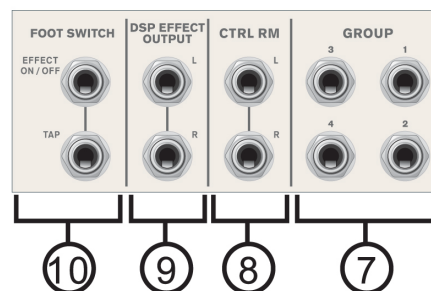
6. AUX センド端子

リバーブ等の外部シグナルプロセッサーやステージモニター等へ信号を出力する際にバランス仕様のフォン端子を使用します。AUX ミキシングバスで設定された最終ラインレベル信号を出力することが可能です。尚、AUX5/6シフトボタンを押すと、AUX5、6 センドからそれぞれ AUX3、4 の信号がそのまま出力されます。



7. グループ出力端子

Group1～4 のフェーダーで設定された最終ラインレベル信号をバランス仕様のフォン端子から出力します。グループ出力端子は主にマルチトラックレコーダーやパワーアンプ等に接続して使用します。



8. STRL RM 出力端子(コントロールルーム)

コントロールルームレベルコントロールによって設定された信号を 2 系統のフォン端子から出力されます。通常、コントロールルームのモニタースピーカーに接続して使用します。

9. DSP エフェクト出力端子

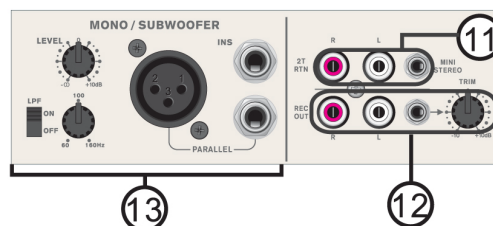
AUX3 リターン/EFX コントロールに影響されない、内蔵エフェクト信号を出力することが可能です。この出力端子は内蔵エフェクト信号を外部機器に出力する場合や、エフェクト信号をモニターする為に Sonic Station のチャンネル入力端子に再度入力し AUX1、2、4 から出力することが可能です。この際フィードバックループを避ける為、AUX3 コントロールを一番低く設定して下さい。

10. フットスイッチ端子(アンラッチタイプ)

内蔵エフェクトプロセッサーの設定をフットスイッチにより調節することができます。上側の端子によってエフェクトのオン/オフを切替え、下側の端子でタップディレイの設定を行います。尚、フットスイッチはアンラッチタイプに対応しています。

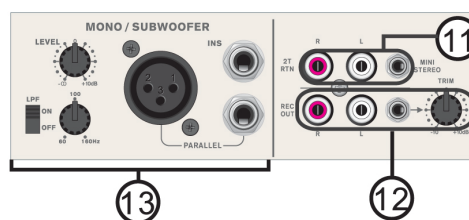
11. 2TRTN 端子

テープレコーダー、CD、ノート型パソコン等の外部機器を 2TRTN ピン端子に接続することが可能です。また SonicStation16 はミニステレオフォン入力端子も搭載しています。ポータブル CD プレーヤー、MD プレーヤー、さらにノート型 PC 等を接続し、信号を入力することが可能です。



12. REC 出力端子(ゲインコントロール搭載)

MD、ノート型 PC、テープレコーダー等の外部録音機器にピン出力端子からメイン L/R 信号を出力します。また SonicStation16 はミニステレオフォン出力端子も搭載しています。これにより出力レベルを調節することも可能です。REC 出力端子は出力ゲインコントロールを搭載している為、外部録音機器に出力する際に出力レベルを調節することが可能です。



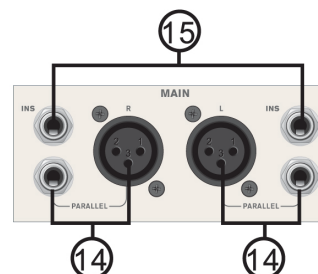
13. モノラル/サブウーファー出力端子

XLR 端子とバランス仕様のフォン端子からメイン L/R 信号の L と R を混合したモノラル出力信号を出力することが可能です。モノラル/サブウーファー出力端子はモノシステムを使用する際、また重低音を得る為にサブウーファーをシステムに追加する際に有効です。またモノラル/サブウーファー出力端子はインサート端子を搭載しています。コンプレッサー等の外部シグナルプロセッサーを接続することが可能です。

搭載されたローパスフィルターによりモノラル出力信号の 60~160Hz 以上の成分を 12dB/オクターブの割合でカットすることが可能です。ローパスフィルターはスイッチによりオン/オフを切替えることが可能です。

14. メイン出力端子

メインミキシングバスのステレオ最終ラインレベルを出力します。XLR 端子にパワーアンプ、イコライザー、またはミキサー等の外部機器を接続し、メイン出力信号を送ることが可能です。さらに XLR 出力端子に内部パラレル接続されたバランス仕様のフォン端子からも同様にメイン信号を出力することができます。

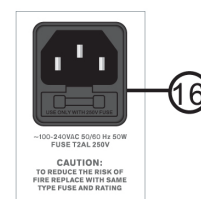


15. メインインサート端子

メイン出力端子の上に配置されたインサート端子を使い、メイン L/R 信号にイコライザーやコンプレッサー等の外部シグナルプロセッサーを使用することが可能です。

16. 電源入力端子/ヒューズホルダー

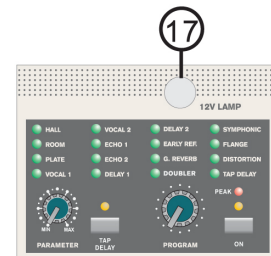
本体に付属している電源ケーブルを電源入力端子に接続してミキサー本体に電源を供給します。また SonicStation16 は本体の電源回路を保護する為に電源部にヒューズが搭載されています。ヒューズが切れた場合はヒューズホルダーを開けて、同規格のヒューズと交換して下さい。



メインミキシングパネル

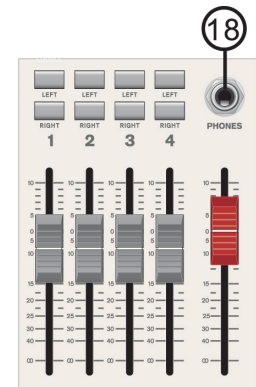
17. 12V ランプ

BNC コネクターの 12V ミキサーライトを接続することが可能です。手元が暗い中での作業時などに非常に便利です。



18. ヘッドフォン出力端子

ミックスをヘッドフォンでモニターするのに最適です。ヘッドフォン出力のレベルは本体マスターセクションの PHONES コントロールで設定可能です。

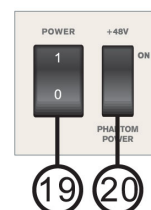


機能と設定

リアパネル

19. 電源スイッチ

本体の電源のオン/オフを切替えます。オンにする際には必ず全てのレベルコントロールが一番低い状態に設定されていることを確認して下さい。



20. ファンタム電源スイッチ

スイッチがオンに設定されている際にファンタム電源が全てのマイク入力に供給されます。ファンタム電源スイッチをオンに切替えるとレベルメーター上部に搭載された LED が点灯します。

注: ファンタム電源はバランス仕様のマイク及び、ファンタム電源が供給可能なダイレクトボックスなどに使用できます。破損の恐れがありますので、ファンタム電源がオンの時にアンバランス仕様のマイク、またはその他楽器類をマイク入力端子に接続しないで下さい。

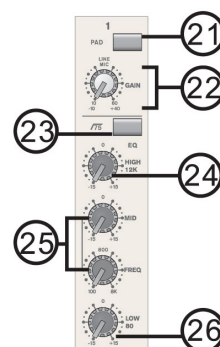
チャンネル機能

21. PAD ボタン

本体のチャンネル 1~4 に入力信号を 20dB 減衰させる PAD ボタンが搭載されています。これにより信号レベルが大きいソースもクリップすること無しに入力することが可能になります。

22. ゲインコントロール

チャンネルに入力した信号のゲインレベルを調節します。音質を損なうことなく入力信号を最大限増幅するには、ピークインジケーターが時折点灯する程度までゲインレベルを調節して下さい。



23. ローカットフィルター(75Hz)

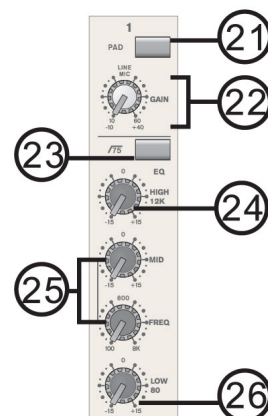
ローカットフィルターのオン/オフを切替えます。チャンネル 1~16 に搭載されたローカットフィルターは 75Hz 以下の周波数を 18dB/オクターブの割合で減衰させます。ローパスフィルターは屋外やステージ上の不必要な低音を取り除きたい時、またマイクを落とすなどのアクシデントからシステムを守るのに大変便利な機能です。

24. HF(High Frequency)コントロール

12kHz 以上の周波数を $\pm 15\text{dB}$ の範囲で調整可能なシェルビング型のイコライザーです。高域を強調したい時や音に明るさを出したい時(またはその逆)などに有効なコントロールです。

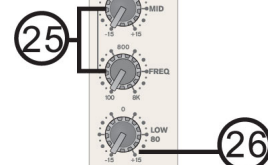
25. MF (Middle Frequency) コントロール

100Hz～8kHz の周波数を±15dB の範囲で調整可能なピーク型のイコライザーです。ボーカルや楽器に張りを加えたい時や、また逆に歯擦音が耳につく時などに有効なコントロールです。



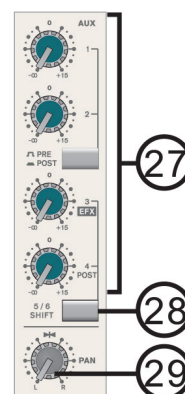
26. LF (Low Frequency) コントロール

80Hz 以下の周波数を±15dB の範囲で調整可能なシェルビング型のイコライザーです。ドラムやベースなどの低音を強調したい時や、低域の輪郭を出したいときなどに有効なコントロールです。



27. AUX コントロール

AUX1～4 のミキシングバスに送られる信号レベルをそれぞれ調節します。AUX1 と 2 は Pre/Post ボタンを搭載しており、ミキシングバスへのプリフェーダー信号、又はポストフェーダー信号を送ることが可能です。また AUX3 は内蔵エフェクト用の EFX センド、又は単に AUX センドとして機能します。尚、AUX3 と 4 はポストフェーダー信号をそれぞれのミキシングバスに送ります。



28. 5/6 シフトボタン

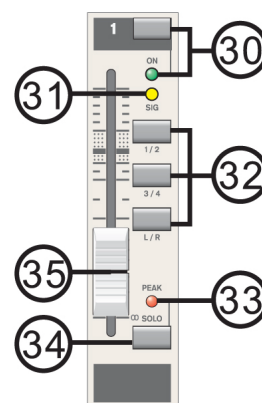
5/6 シフトボタンがオンの時に AUX3 と 4 コントロールによりチャンネル信号を AUX5 と 6 から出力します。

29. パンコントロール

チャンネルに入力された信号の定位を決めます。PAN ツマミを左側一杯に回すと、信号は左に定位します。また反対に右側一杯にツマミを回すと、信号は右に定位します。またツマミを中心に設定すると左右の信号レベルが同じになり、信号は中心に定位します。

30. オンボタン/インジケーター

チャンネルのオン/オフを切替えます。チャンネルがオンの時、チャンネル信号をそれぞれメイン L/R バス、グループ 1/2 バス、グループ 3/4 バス、AUX バス、EFX バスに送ることが可能になり、インジケーターが点灯します。



31. 入力信号インジケーター

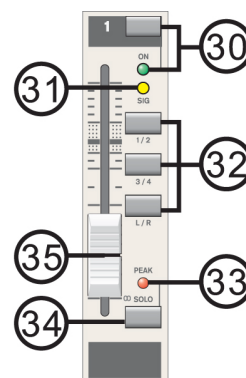
入力チャンネル信号が-20dB に達すると LED インジケーターが点灯します。これにより信号の有無を確認できます。

32. 1/2、3/4、L/R ボタン

チャンネル信号のルーティングを設定します。各ボタンを押すとチャンネル信号が各ミックスバスに送られます。

33. ピークインジケータ

この LED インジケータは信号がオーバーロードする 6dB 下に達すると点灯し始めます。このインジケータが時々点灯する位にチャンネルゲインを設定して下さい。またこのボタンはソロインジケータとしての機能も持っています。ソロボタンが押されるとインジケータが点灯します。

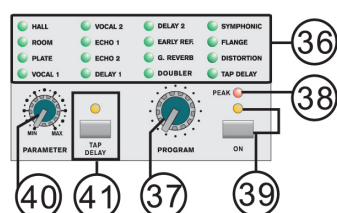


34. ソロボタン

ソロボタンを押すとチャンネル信号がコントロールルーム/ヘッドフォンミキシングバスに送られます。この際、プリ/ポストボタンの状態によりそれぞれプリ/ポスト信号が送られます。またソロボタンは各チャンネルの入力ゲインレベルを設定する時などに使用し非常に便利な機能です。

35. チャンネルレベルコントロール(フェーダー)

チャンネルからメインミキシングバスに送る信号レベルを調節します。



デジタルエフェクトエンジン

36. デジタルエフェクトディスプレイ

本体内蔵エフェクトのタイトルを表示します。エフェクトを選択するとエフェクトのタイトル横に搭載された LED が点灯し、自動的にエフェクトが変更されます。エフェクトのプログラムについては本書巻末のデジタルエフェクト・テーブルをご参照下さい。

37. プログラムコントロール

デジタルエフェクトディスプレイ上のエフェクトをスクロールし、選択します。

38. ピークインジケータ

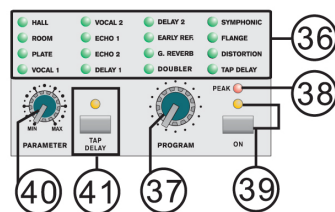
デジタルエフェクトがオーバーロードすると、このインジケータが点灯します。音質を損なうことなくエフェクトをご使用頂く為に、AUX3 コントロールをインジケータが点灯しないように調節して下さい。

39. エフェクトオンボタン/インジケータ

エフェクトパネルのオン/オフを切替えます。エフェクトプロセッサがオンの時 LED インジケータが点灯します。

40. パラメーターコントロール

選択されているデジタルエフェクトのパラメーターを調節します。エフェクトのプログラムについては巻末のデジタルエフェクト・テーブルをご参照下さい。



ノート： デジタルエフェクトエンジンはメモリー機能を搭載しており、プログラムを変更した際にも設定したパラメーターはメモリーに残ります。

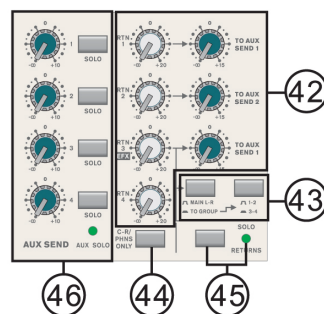
41. タップディレイボタン/インジケーター

タップディレイが選択されている時、このボタンによりディレイタイムを設定できます。ディレイタイムを設定するにはタップディレイボタンを数回押して下さい。ボタンを押した時の間隔をミキサーが自動的に測定し、次回またボタンが押されるまでその間隔を記憶します（電源を切っても内部メモリーに残ります）。またタップディレイが選択されている時に LED が設定された間隔で点滅します。

マスターセクション

42. AUX リターン 1～4 コントロール

AUX リターン入力端子に入力された信号のレベル調節を行います。“To AUX Send 1” や“To AUX Send 2”等のコントロールによって AUX リターンコントロールから送られたプリフェーダー信号をそれぞれの AUX ミキシングバスに送ることが可能です。AUX3 コントロールは通常 AUX リターン 3 入力端子に入力された信号を調節しますが、AUX リターン 3 入力端子に何も接続されていない場合、内蔵デジタルエフェクトの出力レベルコントロールとして機能します。



43. メイン L/R - グループボタン

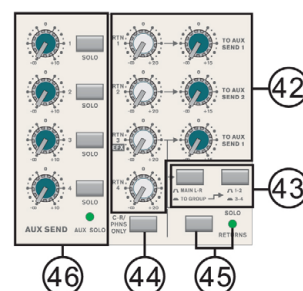
1 つ目のボタンを使用して AUX リターン 3 に入力された信号の行き先をメイン L/R とグループミキシングバスから選択します。また 2 つ目のボタンはグループ 1/2 または 3/4 に信号を送ります。

44. コントロールルーム/ヘッドフォンオンリー・ボタン

AUX リターンコントロール 4 の下に位置するコントロールルーム/ヘッドフォンオンリー・ボタンは AUX リターン 4 ポストフェーダー信号をコントロールルーム/ヘッドフォンミキシングバスに送ります。

45. リターンソロボタン/インジケータ

リターンソロボタンを押すと、全ての AUX リターンからソロミキシングバスに信号が送られます。またソロがオンの時に LED が点灯します。

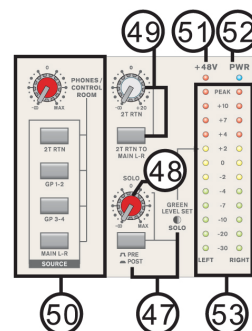


46. AUX センド 1~4 マスターコントロール/ソロインジケータ

AUX1、2、3、4 のマスター出力レベルを調節します。また搭載されたソロボタンを押すと AUX センド信号がコントロールルーム/ヘッドフォンミキシングバスに送られます。また何れかのボタンが押されると LED が点灯します。

47. プリ/ポストボタン/ソロインジケータ

ソロとコントロールルーム/ヘッドフォンミキシングバスに送るソロソース信号をプリフェーダーとポストフェーダーから選択します。ソロインジケータが点灯している場合は1つ以上のソロボタンがオンになっていることを示し、よってメインレベルメーターにはソロ信号が表示されます。ソロインジケータが緑に点灯している場合はプリフェーダー信号が送られていることを示し、赤く点灯している場合はポストフェーダー信号が送られていることを示します。



48. ソロコントロール

1 つ以上のソロボタンがオンの時コントロールルーム/ヘッドフォンミキシングバスに送られる前の信号レベルを調節することが可能です。これによってメイン L/R 信号とソロ信号をモニターする際に信号レベルの差に悩まされずに済みます。

49. 2T リターンコントロール

2T リターン入力端子に入力された信号レベルを調節することが可能です。搭載された“2T Return To Main L/R”ボタンをオンにすると 2T リターン信号をメイン L/R ミキシングバスに送ることが可能です。尚、“2T Return To Main L/R”ボタンがオンの時にはフィードバックを防止する為にメイン L/R 信号は REC 出力に送られません。

50. ヘッドフォン/コントロールルーム、ボタン

本体リアパネルに装備されたコントロールルーム出力端子とトップパネル上のヘッドフォン出力端子に送る信号レベルを調節します。またヘッドフォン/コントロールルームコントロールの下に位置する 4 つのボタンによってソース信号を選択することができます。これらのボタンにより、2T リターン、グループ 1/2、グループ 3/4、メイン L/R 信号をそれぞれ、又は一緒にモニターすることが可能です。また AUX リターン 4 コントロールの下に“C-R/PHNS ONLY”ボタンが搭載されています。このボタンをオンにすると AUX リターン信号がヘッドフォン/コントロールルームミキシングバスに送られます。

51. +48V インジケータ

ファンタム電源がオンの時に点灯します。

52. 電源インジケータ

本体の電源がオンの時に点灯します。

53. レベルメーター

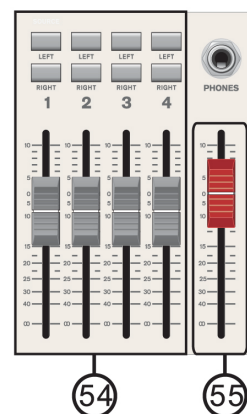
デュアル 12 セグメント仕様のレベルメーターによって信号レベルを正確に表示します。レベルメーター上の 0dB は出力レベルが+4dBu(バランス)であることを示し、またピークインジケータは信号がクリップする 1.5dB 手前で点灯します。入力信号の音質を保つ為に全てのレベルコントロールをレベルメーターが 0dB 表示するように調節して下さい。

チャンネル 1~16 のソロボタンがオンの時にレベルメーターはソロ信号を表示します。しかしそれ以外の場合、コントロールルーム/ヘッドフォン出力に選択されたソース信号(メイン L/R、グループ 1/2、グループ 3/4、2T リターン、AUX リターン 4)が表示されます。

54. グループ 1~4 コントロール

グループ 1~4 の最終出力信号を調節します。通常、グループ出力はエフェクトプロセッサ等の外部機器やマルチトラックレコーダーに接続して使用します。またグループフェーダーには各チャンネル信号や AUX リターン 3 から信号を送ることが可能です。

グループコントロールには Left と Right ボタンを搭載しており、各グループ信号をメインミキシングバスの L チャンネルと R チャンネルに送ることが可能です。

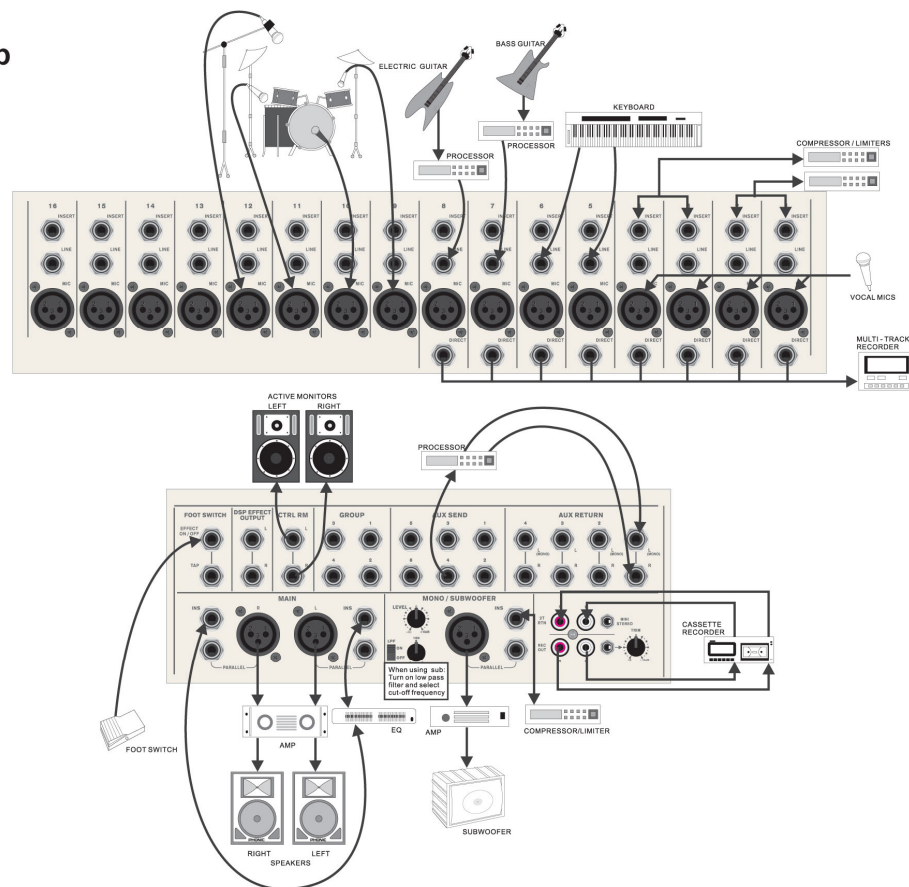


55. メイン L/R フェーダー

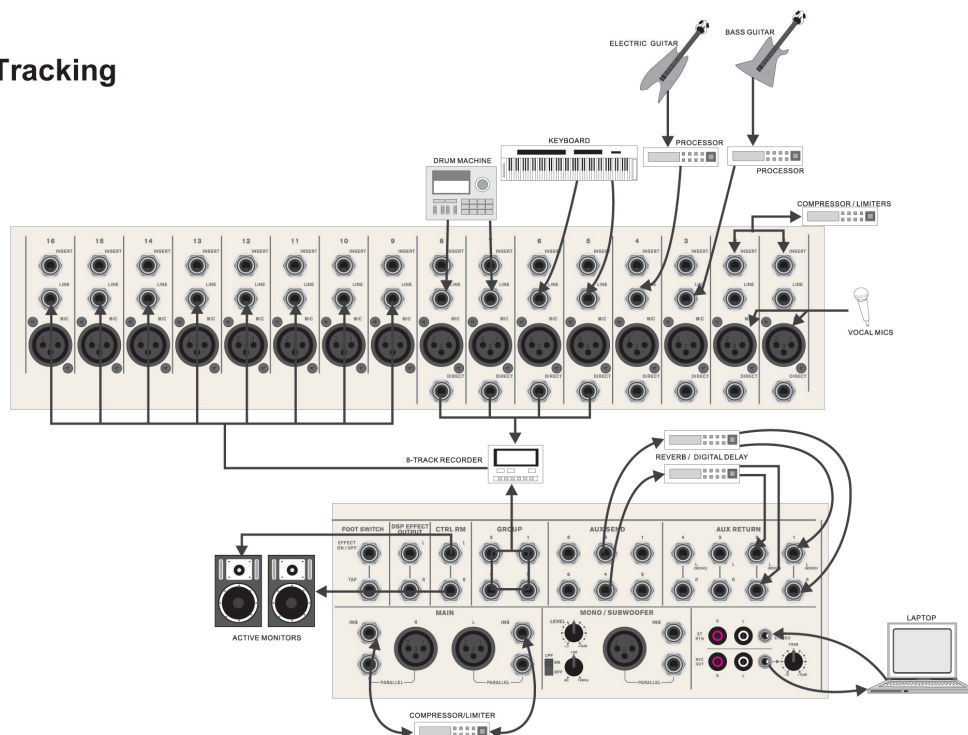
メイン L/R 信号の最終レベルを調節します。

接続例

Live Setup



8-Track Tracking



デジタルエフェクトプログラム一覧

Program Name	Program Description	Controllable Parameter	
		Parameter	Variable Range
HALL	This reverb simulates a large, expanse setting, such as a concert hall	Reverb Time	0.3 – 10.0 sec
ROOM	Creates acoustics similar to those of a small room	Reverb Time	0.3 – 3.2 sec
PLATE	Simulates a Plate Reverb device, creating hard sounding Reverberation	Reverb Time	0.3 – 10 sec
REVERB VOCAL 1	Ideal for Reverb of vocals	Reverb Time	0.3 – 10.0 sec
REVERB VOCAL 2	Ideal for Reverb of vocals	Reverb Time	0.3 – 10.0 sec
ECHO 1	Ideal for Echoing vocals	Delay Time	0 – 800 ms
ECHO 2	Ideal for Echoing vocals	Delay Time	0 – 800 ms
DELAY 1	Delays the audio signal	Delay Time	0 – 800 ms
DELAY 2	Delays the audio signal	Delay Time	0 – 800 ms
EARLY REF.	Modifies early reflections, creating a deeper sound or an echo-like effect	Room Size	0.1 – 10.0
GATE REVERB	Produces effect by cutting the reverberation	Room Size	0.1 – 5.0
DOUBLER	Creates an effect simulating 2 vocalists	Pitch Fine	0 – 50
SYMPHONIC	Adds richly layered depth to the sound	Depth	0 – 100%
FLANGE	Adds a sense of pitch to the sound	Modulation Frequency	0.05 – 4.00 Hz
DISTORTION	Used to distort the sound	Drive	0 – 100%
TAP DELAY	Allows you to select the delay time by clicking a button twice or by use of a footswitch. The amount of feedback is adjusted using the PARAMETER control.	Feedback Gain	0 – 99%
		Delay Time	100 ms(600bpm) – 2690 ms(22.3bpm)

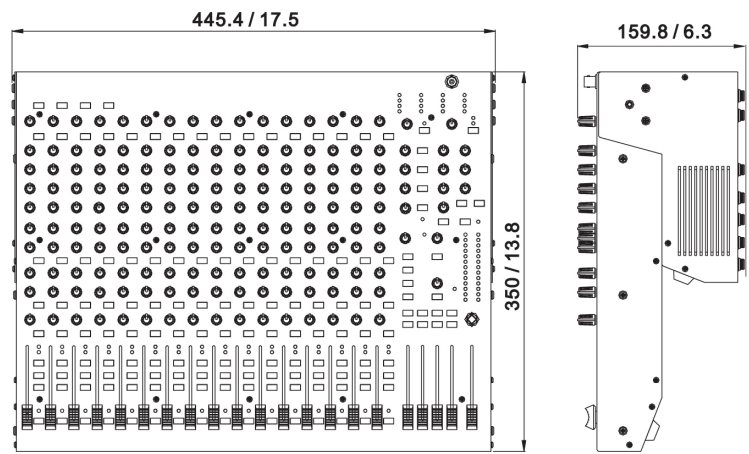
製品仕様

Inputs	
Balanced Mic / Line channel	16
Aux Return	4 stereo
2T Input	Mini stereo and stereo RCA
Outputs	
Main L/R Stereo	2 x 1/4" TRS, Bal. & 2 x XLR
Main out with inserts	Yes
Main Mono	1 x 1/4" TRS, Bal. & 1 x XLR
Main Mono out with inserts	Yes
Rec Out with Trim Control	Mini stereo and stereo RCA
CTRL RM L/R	2 x 1/4" TS
Phones	1
Channel Strips	16
Aux Sends	6 with 4 volume control
Pan/Balance Control	Yes
Volume Controls	60mm fader
Master Section	
Aux Send Masters	4
Master Aux Send Solo	4
Stereo Aux Returns	4
Aux Return Assign to Subgroup	1
Effects Return to Monitor	3
Global PRE/POST Solo Mode	Yes
Individual CTRL RM/Phones & Solo Level Control	Yes
Faders	4 subgroups, Main L/R
Metering	
Number of Channels	2
Segments	12
Phantom Power Supply	+48V DC
Switches	Master
Effect Processor	16 effects with one main parameter control, tap delay control, foot switch (effect on/off, tap)
Frequency Response (Mic input to any output)	
20Hz ~ 60KHz	+0/-1 dB
20Hz ~ 100KHz	+0/-3 dB
Crosstalk (1KHz @ 0dBu, 20Hz to 20KHz bandwidth, channel in to main L/R outputs)	
Channel fader down, other channels at unity	<-90 dB
Noise (20Hz~20KHz; measured at main output, Channels 1-4 unit gain; EQ flat; all channels on main mix; channels 1/3 as far left as possible, channels 2/4 as far right as possible. Reference=+6dBu)	
Master @ unity, channel fader down	-86.5 dBu
Master @ unity, channel fader @ unity	-84 dBu
S/N ratio, ref to +4	>90 dB

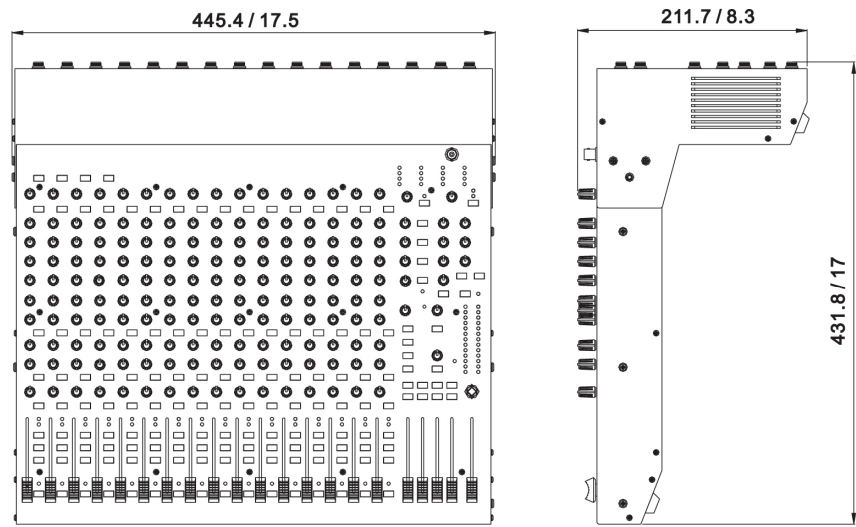
Microphone Preamp E.I.N. (150 ohms terminated, max gain)	<-129.5 dBm
THD (Any output, 1KHz @ +14dBu, 20Hz to 20KHz, channel inputs)	<0.005%
CMRR (1 KHz @ -60dBu, Gain at maximum)	80dB
Maximum Level	
Mic Preamp Input	+10dBu
All Other Input	+22dBu
Balanced Output	+28dBu
Impedance	
Mic Preamp Input	2 K ohms
All Other Input (except insert)	10 K ohms
RCA 2T Output	1.1 K ohms
Equalization	3-band, +/-15dB
Low EQ	80Hz
Mid EQ	100-8k Hz, sweepable
Hi EQ	12 kHz
Low cut filter	75 Hz (-18 dB/oct)
Built-in Power Supply	100-240 VAC, 50/60 Hz
Net Weight	9.5 kg (20.9 lbs)
Dimensions (WxHxD)	445.4 x 211.7 x 431.8 mm (17.5"x8.3"x17")

寸法

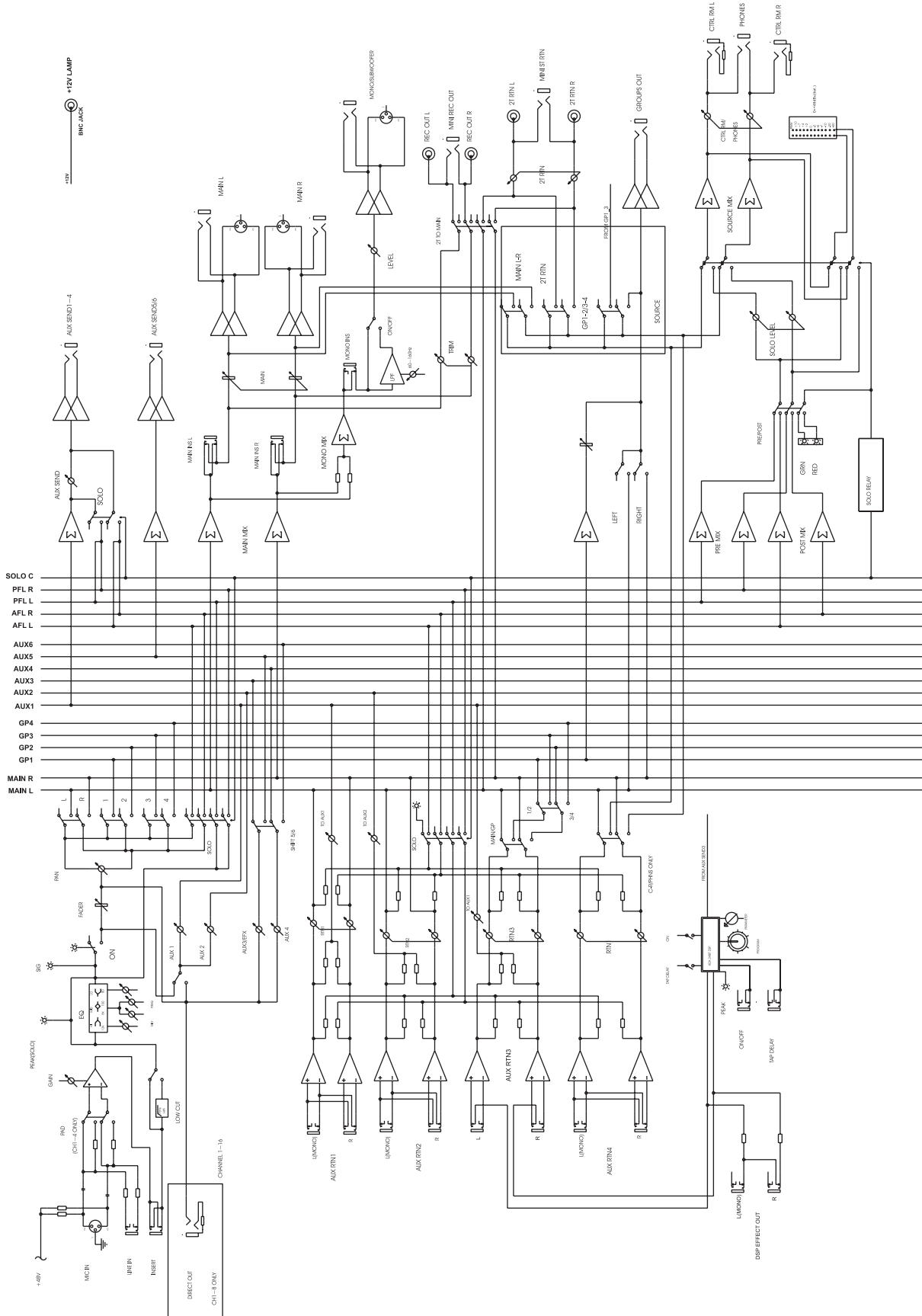
Rack-mount Mode



Desk-top Mode



Measurements are shown in mm/inch



 **PHONIC**